



この4月から図書館が閉館してからも利用者の皆さんが本を返却できるように、図書館閉館時に図書館本館正面出入口にリターンポストを設置しました。どうぞご利用下さい。ただし返却遅れの図書は入れないで下さいね。

絵・文とも 本嶋 瑠美 (短大英語科2年次生)



おこしやす、
図書館へ

「図書館の資料アレコレ」

藤井 達也

「図書館にはどんな資料があるでしょうか？」という問いに、あなたは何と答えますか？本と言われる人が多いと思います。確かに図書資料が圧倒的に多いのは事実です。しかしそれ以外の資料も沢山あります。さて、皆さんは何を思い浮かべますか？

図書館の閲覧室を眺めてみると、まず雑誌が見えますね。雑誌も立派な資料です。本学図書館では約2,500タイトルもの雑誌を継続購入しています。雑誌は和雑誌と洋雑誌に分けられ、それぞれに娯楽的な物と、学術的な物とに大きく分けられます。インターネットが普及した現在でも雑誌の編集方針に魅力を感じて、最新号が届くのを心待ちにしている人もおられるのではないのでしょうか。雑誌は原則的に貸し出しが出来ませんので、図書館内で利用して下さい。必要な部分だけを複写（コピー）することは可能です。

次は新聞です。以前にもこの欄に書きましたが、本学図書館には日本語の主要新聞は勿論、日本語以外の様々な言語で書かれた新聞も入ってきます。まず日本語の新聞を読んでニュースの内容を把握し、それから自分が学んでいる言語の新聞を読んでもというのは効果的な勉強方法だと思います。それが簡単に出来るというのが図書館です。是非、お試し下さい。

CDも所蔵しています。これは語学関係の物が中心となっています。図書に付いている付録CDは別として、CDは図書とは別の場所に置いてあります。CDは原則的に貸し出しが出来ませんので、図書館内のプレーヤーで利用して下さい。詳しいことはカウンターで尋ねて下さい。

本学図書館ではホームページを開設しています。その中には独自のデータベースが数多く収録されています。また、このホームページ内には商用データベースへのリンクが張られています。学内からであれば、無料で利用することが出来ます。これらはその形を見ることが出来ませんが、資料の一つと呼べるでしょう。

これ以外にもカセットテープ、ビデオテープ、CD-ROM、授業で使う大きな地図、マイクロフィルム、マイクロフィッシュなど、様々な形態の資料があります。あなたはどれだけ使いこなしていますか？形は異なっていますが、図書館にとってはいずれも重要な資料であるという点に変わりありません。

ふじい たつや (司書・図書館係長)